

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立田上小学校（鹿児島県）

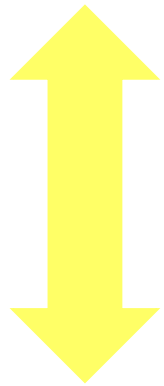
【取組内容①】『『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実』授業における子供主体のアプリ選択と活用

子供が、目的を意識して
提案テーマ・学習形態・アプリを選ぶ



学習者主体で国語科の
「書くこと」の授業をデザイン

実践のポイント



- これまで培ってきた対話型の授業をベースに、子供一人一人が自らの学習状況に応じて、提案するテーマから使用するアプリまでを選択したり決定したりした。
- 単元内の中では、単元内一部自由進度学習の考えを取り入れ、情報の収集・共有・整理は協働を通して行ったり、提案資料の作成の見通しをもったりできるようにした。
- 単元の冒頭では、前時や既習単元の振り返りを基に、課題となった点、困った点などを出し合い、教師が学級全体に問い掛けたり、友達にアイデアをもらったりしてよいことを確認した。
- 単元内及び授業の途中では、子供から質問があれば、全体で共有した方がよいことについて、全体に伝えるようにした。
- 発表前には、発表の形態も自分たちで選択することができるようにした（一人、ペア、複数など）。また、調べたり、資料を作成したりするときはグループであっても、発表は一人、また、その逆もあるなど、子供たちが自分の興味・関心、自らの学習状況等に応じて発表の形態も選ぶことができるようにした。

今までの授業

- 子供たちの提案資料の書きぶりが、似通ってしまったり、内容の独自性が乏しかったりする。
- 内容や構成がほぼ同じであるため、共有の過程で互いの作品について言及しにくい。

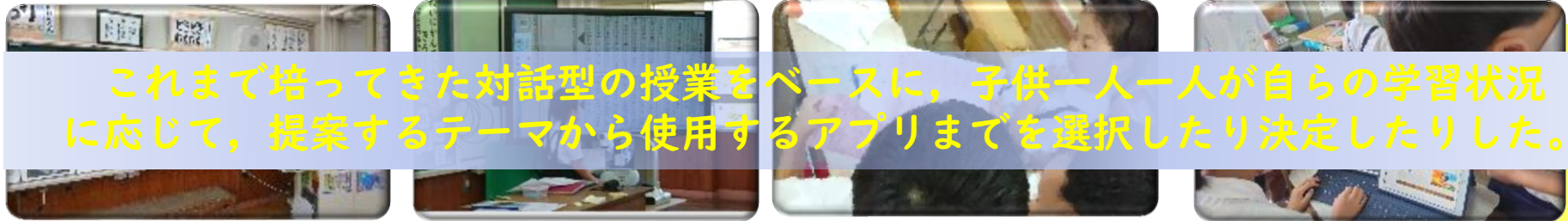
- ◆ 子供が自ら問いを立てる。
- ◆ 子供が課題解決の方法を見通す。
- ◆ 子供が学習方法を選択する。
- ◆ 子供が試行錯誤しながら協働する。
- ◆ 子供が自らの学びを生かし、次に生かす。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立田上小学校（鹿児島県）

【取組内容①】『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実」授業における子供主体のアプリ選択と活用



これまで培ってきた対話型の授業をベースに、子供一人一人が自らの学習状況に応じて、提案するテーマから使用するアプリまでを選択したり決定したりした。

学習課題

この単元では、相手に提案するときの構成の特徴を知り、事実と意見を区別しながら筋道の通った提案をすることができるようになる学習をします。

そのための課題は、

自分の主張を支える材料を集めたり分類したり、関係付けたりしながら、「『今』、わたしたちにできること」をつくることです。

自分の問い

- 相手に共感してもらえる提案にするには、どのような資料や話し方をするとよいのだろうか。
- 友達は、どんな速さで発表したり、声の調整をしたりしているのだろうか。

児童A：□□さんの発表がよかったよね。

児童B：うん。よかった。一人だけMicrosoft Wordを使っていたよね。どうしてかなあ。分かりやすいからかな。

児童C：いや、きっと選んだテーマが関係しているんだよ。□□さんは、紙のチラシを配るのはもったいないということを発表していたよね。だから、Microsoft Wordで提案資料を作ること、一枚の紙をデジタルでみんなで見せるということをしていただけかな。（Microsoft Teamsにアクセスしながら説明をする。）



一人で



ペアで

他者の発表内容を捉えて、アプリの選択の意図を推し量ったり聞いたりする子供の姿が見られた。



自分のタイミングで端末にアクセス

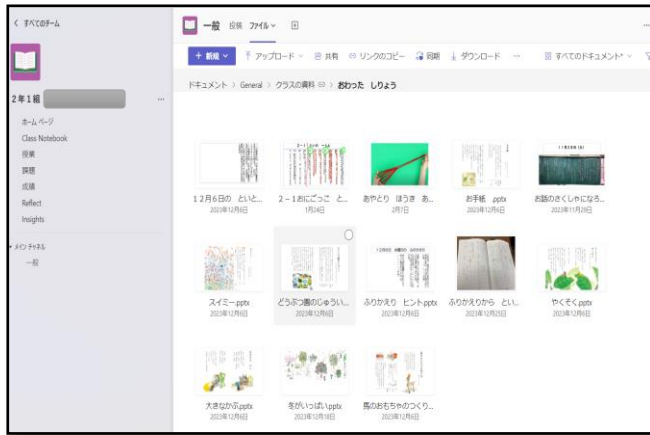
リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立田上小学校（鹿児島県）

【取組内容⑤】「その他」 単元内一部自由進度学習の考えを取り入れた、国語科「書くこと」における2年生と6年生の取組

2年生 国語科「書くこと」

参考作品の共有と作品の推敲



「スイミー」の1の場面を基にして、書くとどんな場所で、どんな人物が出てくるのか読む人に伝わりやすくなりそうだな。

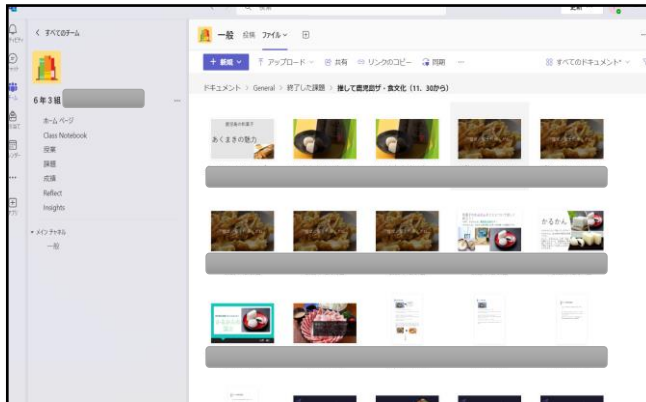
Microsoft Teamsに入っている、「スイミー」の文章を見ながら、試しに書いた「はじめ」の部分を書き直してみよう。

子供がこれまでに学習した物語文を想起し、共有できるようにすることで、子供が自分の問いに応じた参考作品を探し、自分が書く物語に生かすことができるようにする。これまで学習した物語文をMicrosoft Teamsで、いつでも誰でも閲覧できるようにすることで、共通する課題の友達と一緒に課題解決したり、つまづいている子供が友達からヒントを得たりするなど協働的に学ぶ姿が見られた。

集材・記述・推敲において、単元内一部進度学習の考えを取り入れて単元学習を進めた。

6年生 国語科「書くこと」

他者参照と自分の作品の推敲



プレゼンの構成に悩んでいるよ。3枚目のスライドは、この順序でいいかな。

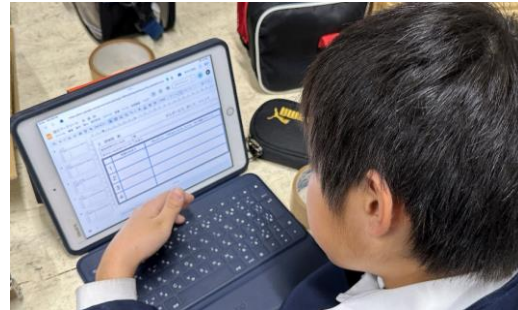
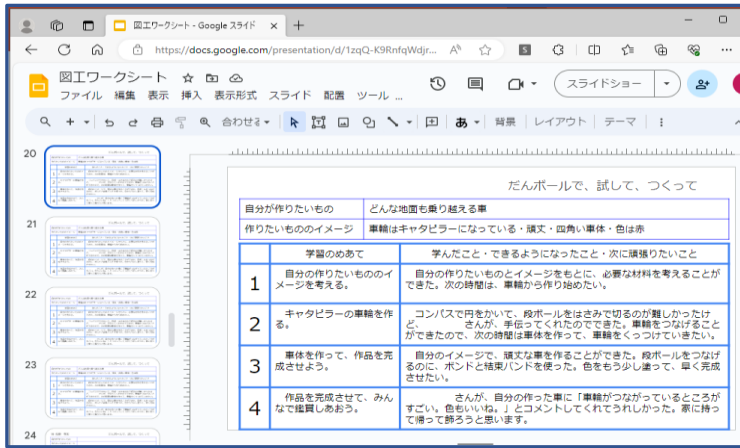


〇〇さんのプレゼンの構成がよいなと思ったよ。Microsoft Teamsで確認してみようよ。

子供が自分の問いの解決に沿った他者参照をすることで、自分のプレゼン資料の作成に生かすことができるようにする。学級全員の作品をMicrosoft Teamsで、共有できるようにすることで、家庭学習でも自分で調べたり推敲したりするなど主体的に学ぶ姿が見られた。

【取組内容①】「図画工作科における『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実」

1 学習計画の作成と共有



Googleスライドで学習計画を作成している様子

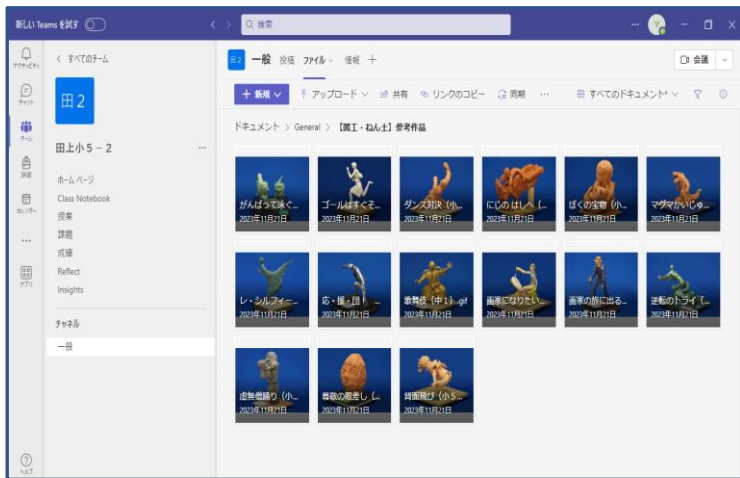


共通する課題ごとに製作する様子

Googleスライドで作成した学習計画

子供一人一人がGoogleスライドで学習計画を作成し、共有できるようにすることで、自分が解決したい課題や問いをどのように解決していけばよいか考えたり、自分に合った課題を選択したりできるようにした。学習計画を共有することで、共通する課題の友達と一緒に課題解決したり、つまづいている子供が友達からヒントを得たりするなど協働的に学ぶ姿が見られた。

2 参考作品の共有



Microsoft Teamsのファイルで共有した作品データ



参考作品のgifデータ



子供が自分の作品を撮影している場面

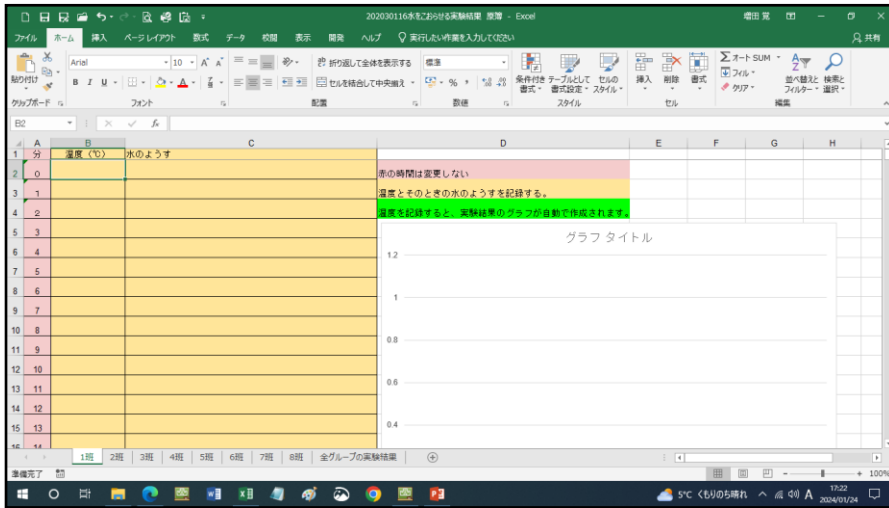


Metascanによる3Dデータ

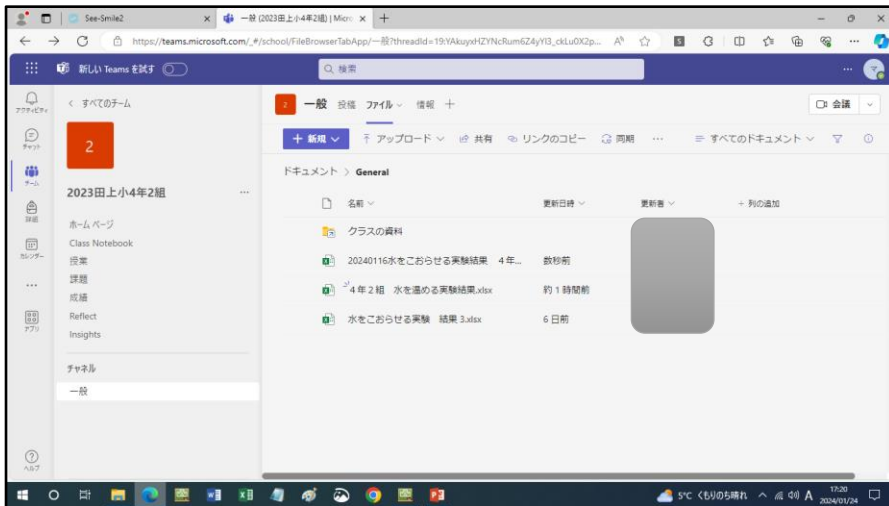
参考作品をMicrosoft Teamsのファイルに入れておくことで、子供が作品を制作する際のヒントにできるようにした。また、児童が随時作品の画像を共有フォルダに入れていくことで、子供自身が必要なタイミングで友達の作品を鑑賞し、制作活動に生かすことができるようにした。

【取組内容①】 「理科における『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実」

1 授業前の準備



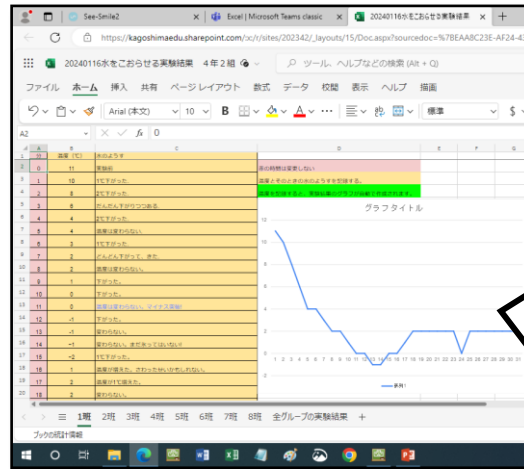
Microsoft Excelで実験結果のシートを作成する。表は、水の温度とその時の水の様子を記録できるようにする。グラフはX軸に時間（分）、Y軸に温度がグラフ化できるようにする。なお、温度は、文字列になるとグラフが作成できないので、数値で入力するように配布時に説明する。



完成したExcelシートをMicrosoft Teamsの「ファイル」タブにアップロードする。児童は、児童用タブレットからアクセスできるように準備しておく。

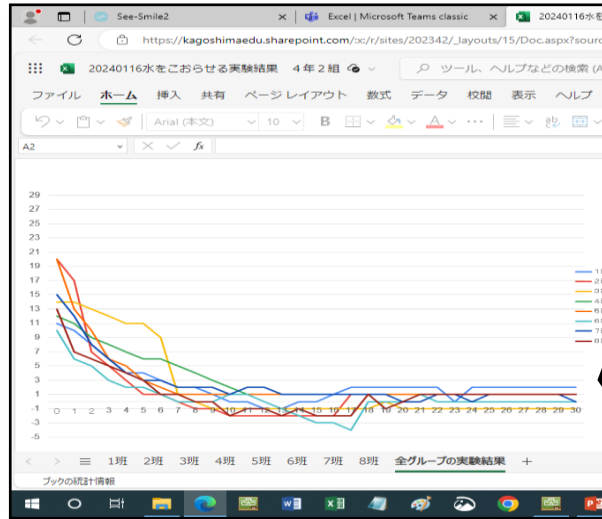
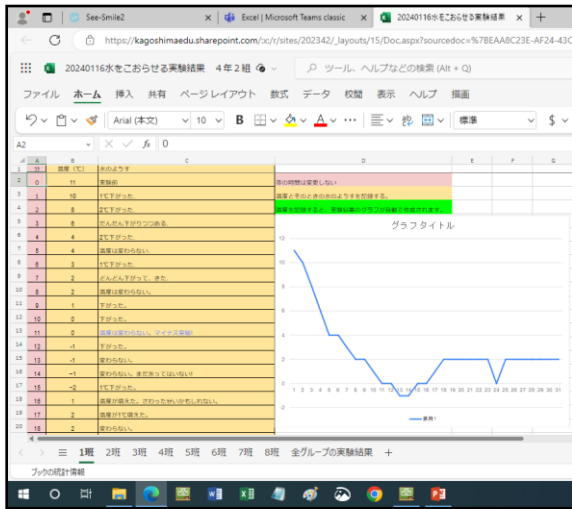
【取組内容①】 「理科における『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実」

2 授業実践 1-①（4年 水の状態変化：水を冷やしたとき）



実験の様子と実際の児童が作成したグラフ。共有機能を有しているので、温度を記録する児童と水の様子を記録する児童が同時に編集することができる。また、タブレットのストップウォッチを起動して、時間も画面上で同時にみることができるようになる。

授業実践 1-②（4年 水の状態変化：水を冷やしたとき）



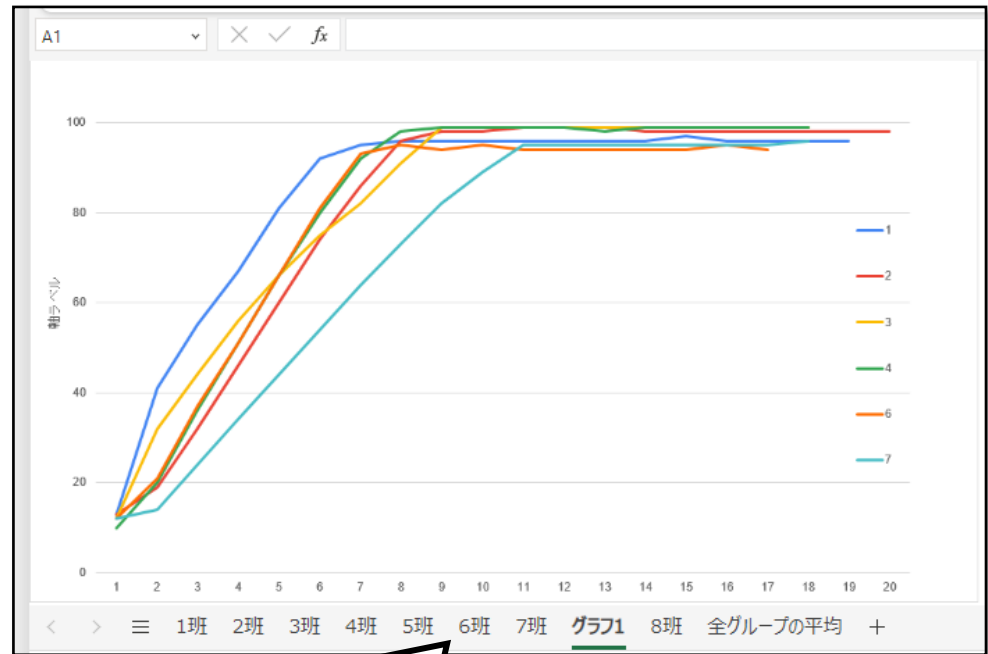
各グループが上のシートに実験結果を記録することで、全グループのデータをグラフ化できるシートが完成する。このシートを準備しておくことで、瞬時に他のグループの結果と比較することができ、共通点や差異点を見つけ、考察に役立てることができた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立田上小学校（鹿児島県）

【取組内容①】 「理科における『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実」

3 授業実践2（4年 水の状態変化：水を熱したとき）



水の状態変化（水→氷）と同様に、水の沸騰の実験でも実践した。4年生以上の理科において、実験データを扱う単元や実験においては汎用性がある。また、授業者もMicrosoft Excelで編集ができるため他教科でも活用することが可能である。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立田上小学校（鹿児島県）

【取組内容④】 「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・職員研修」 ・効率良く行う対話的・協働的な校内研究会

各種会議や校内研究会に係る作業時間等の削減のため、Microsoft Teamsで共同編集やデータ整理を行い、校務の効率化を目指した。

Microsoft Teamsにおけるファイル管理

名前	更新日時	更新者
①消さないデータ	2023年2月27日	サイ
②期間限定データ（フォルダ名に削除予定...）	2023年2月27日	サイ
③その他	2023年2月27日	サイ
R5 PTA/パワーポイント	2023年9月5日	マガ
R5 公開研究会	2023年5月1日	オオ
R5 職員会議資料	2023年5月30日	マガ
カリマネ部会	2023年10月28日	マガ

フォルダ整理の際に、残しておくデータと期間限定データのフォルダを作成し、誰もが閲覧しやすいファイル管理を心掛けることで、データの漏洩を防いだり、引継ぎ等をスムーズに行うことができるようになった。

また、Microsoft Teamsにデータを保存することで、自宅からのデータへのアクセスも可能になり、在校時間の短縮も図ることができた。

Microsoft Teamsにおける共同編集機能の活用

子供一人一人が自らの可能性を伸ばす学びの実現
～個別最適な学びと協働的な学びの両立を実現～

1 研究テーマについて

(1) 社会の要請

社会の要請として、子供一人一人が自らの可能性を伸ばす学びの実現～個別最適な学びと協働的な学びの両立を実現～

以上のご意見を踏まえ、本校の研究・実践の方向性を定める過程において、一人一人がこぼすことのない学びの輝きを実現していくことで、未知の社会を生き抜き、豊かな人生を自ら築いていくための「生きる力」の育成を目指す必要があると考えました。

(2) これまでの研究と子供の実態から

本校では、前年度までの3年間、「自ら学び 未来を創る」を研究テーマとして、「自ら学ぶ子供」の育成を目指し、研究の実践に取り組んできました。1年次研究では、「主体的に学習に取り組む態度」に着目し、学習集団ごとに学習活動の工夫を行うことによって、授業内容に取り組んできました。2・3年次研究では、子供の主体性を更に伸ばすための学

Microsoft Teamsの共同編集機能を活用することで、**研究論文の推敲時間を削減することができた**。また、コメント機能やマーカー等を活用して、職員相互で気付いた点を事前に確認できるようにすることで、**対面での会議時間を建設的なものにする**ことができた。

今夏は、この方法をとることで、研究部員は、時間や場所を限定することなく編集作業を行うことが可能となり、校務の効率化につながった。